

宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンジカ部会会議録

日時：平成26年10月17日（金）

午後1時30分から3時30分まで

場所：県庁11階 第2会議室

配布資料

- 資料1 平成25年度ニホンジカ保護管理事業実績報告書
- 資料2 平成26年度ニホンジカ保護管理事業実施計画書
- 資料3 平成26年度ニホンジカに関する各種データ

1 開会

（始めに、事務局が開会を宣言し、委員10名を紹介後、杉下自然保護課長が挨拶を行った。）

2 挨拶（杉下自然保護課長）

（事務局が配布資料の確認を行った後、定足数の報告が行われ、委員10名中9名が出席しており、宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会条例第4条第2項の規定により本会議が有効に成立していることの報告が行われた。また、会議については原則公開であり本会議についても特段の支障がないことから公開で行うことを説明した。次に、土屋部会長が挨拶を行った。）

挨拶（土屋部会長）

シカの部会長の石巻専修大学の土屋です。今、宮城県が直面しているシカの対策の問題は五葉山系の南下と牡鹿半島からの北上、この2点になります。幸いなことに奥羽山系の北上は今のところ動きが無いということなので、東の方に集中して対策を練るということになります。平成25年度の実績におきまして、捕獲頭数が伸びておりますので、これは増えているなということで五葉山系のシカをどうするかという状況になっていると思います。皆さんのお知恵を借りながら五葉山系の南下、牡鹿半島の北上、これを何とか阻止するという点について、御討議いただきたいと思っております。

事務局：以降の進行について、土屋部会長にお願いする。

3 審議事項

- (1) 平成25年度ニホンジカ保護管理事業実施計画の実績について
- (2) 平成26年度ニホンジカ保護管理事業実施計画について
- (3) その他

部会長：早速、(1)平成25年度ニホンジカ保護管理事業実施計画の実績について、事務局から説明願います。

事務局：（資料に従い説明）

事務局：（資料に従い説明）

事務局：（資料に従い説明）

部会長：以上の説明について、御意見・御質問はありますか。私から質問ですが、資料8ページの狩猟目撃効率で平成23年度に比べて平成24年度は減っています。これを全体としてどう評価されますか。

事務局：このデータは、あくまでも狩猟者の報告に基づいているものでございまして、他の区域での捕獲等もあるかと思われます。ただ、この比較が生息状況に反映できるかどうかは、これからも色々と検討

を続けていかなければならないと思っております。

部会長：もう一つ質問ですが糞塊法。これは平成25年度、24年度と括弧書きで並列しています。明らかに25年度は減っていますがこれはどう評価されますか。

事務局：こちらにつきましても同じようにあくまでもラインを設定した上での調査でございます。全体を見ますとそれ以外の区域ではもしかすると増えているのではないかという担当の考えもございまして、たまたま24年度との比較にすぎませんので、これから継続して調査しなければいけないと思っております。

部会長：これは去年から始められたのですか。その前の年もされていましたか。

事務局：今行っております調査につきましては、25年度から改めて三つの手法によるモニタリングを実施しまして、ただ以前もどのような調査を行うべきなのかということで色々同じ地域で調査を行っているという聞いております。

部会長：何故そのような質問をしたのかというと、牡鹿半島の狩猟が若干低めになってきている傾向があり、もしかしたらこの糞塊法の数値が頭数の低下に結び付くのではないかという思いがあったのですが、まだそれまでは言えないということでしょうか。

事務局：はい。まだそこまでは言えません。これからも継続して調査していかなければならず、今のところ未確認でございます。

部会長：もう一つ質問です。放射性物質の検査で数値が出てこなかったのですが、実際問題、対象地域は気仙沼市と牡鹿半島だと思われ、牡鹿半島の話は大体分かりますが気仙沼市はいかがでしょう。

事務局：気仙沼地域につきましては、今年のデータは最低値で66ベクレル、最高値で280ベクレルです。現在6検体の調査をしておりますが、100ベクレルを超えるものが結構出ております。

事務局：少し補足させていただきます。ニホンジカの放射性物質の検査は平成24年からしてございまして、石巻市では毎年2～4検体の検査をしており、1検体も国の基準の100ベクレルを超えるものはありません。気仙沼市に関しては、平成24年度は1検体の検査をして超えています。平成25年度は12検体の検査をして8割以上の10検体が超えております。平成26年度は6検体の検査をして5検体超えているということで、気仙沼市のシカに基準を超える検体が多く出ている結果となり、なかなか気仙沼市のシカの放射性物質濃度が落ちないという状況です。気仙沼市のみ出ている状況だから出荷制限は出ていないので、食べることについては本人の自己責任の上、それぞれ注意をさせていただきますという喚起をしている状況になっています。

部会長：何故このような質問をしたかという県の事業として有害の個体数調整で一般狩猟がゼロなのです。ハンターが放射性物質の影響を考えて入らないのかということ懸念し、気仙沼市の頭数が増えてきた時に個体数調整だけで対応できるのかということを疑問に思いました。

事務局：イノシシの話になり申し訳無いのですが、実はイノシシも平成24年度の震災前までは狩猟で1,200頭くらい獲れていましたが、震災後に出荷規制がかかった後は800頭まで落ちました。我々は確実に放射性物質の影響なので対策を取らなければならぬと考え、平成24年度までは1,400頭くらい獲っていたという事実から、出荷規制されているイノシシも狩猟で獲っていたという事実があるので、実はニホンジカの出荷規制がされたときにその心配をしているのですが、出荷規制になった時にイノシシと同じような動きが出るのか、若しくは減ってしまうのか我々も心配しているので、その辺を狩猟者の方々に動向などを逆にお聞きできればと思っております。

永松委員：気仙沼の支部長にも2、3回お話を聞いたのですが、最初は捕獲したシカを市の焼却炉で焼却処分してもらっていた。ところが640ベクレルくらいだったのですが、焼却処分すると煙が出るので焼却できないということで埋設しているようです。埋設する時にも絶対に素手で触らず必ず自己防衛ということで手袋をして埋設していると聞きました。ですから相当、放射性物質に対する感覚が非常

にシビアな考えを持って狩猟をやっているようです。ですから土屋先生がお話したように、意外とその関係で狩猟の頭数が敬遠されているのではないかと思います。石巻はお陰様で放射能の影響がほとんどないという感じで狩猟しています。

部会長：ありがとうございます。その他に御意見・御質問がありましたら、どうぞ御発言願います。

石田委員：前は捕獲数の他に実際に鉄砲で撃ったようなものが出ていた記憶がありますが、実際はどうですか。

部会長：多分、わな猟と鉄砲の比率はどれくらいですかという質問かと思えます。

事務局：すみません、昨年度の資料を参考に作成させていただきましたので、今回の資料には載せておりません。資料3の1ページです。今回お示ししてあります平成25年の表だけで申し上げますと石巻市・女川町につきましては銃猟です。気仙沼市・登米市・南三陸町につきましては、100%ではないにしてもほとんど8割9割がわな猟です。

部会長：よろしいですか。少しコメントですが、実は兵庫県の捕獲頭数が大体3万頭で、そのうち6割がわな猟です。ですから気仙沼市の一般狩猟の捕獲頭数が上がらない場合、もう少しわなを増やしてみたらいかがでしょうか。

事務局：はい。県の個体数調整で実施する場合は、猟友会さんに御相談したいと思えます。

部会長：ありがとうございます。その他に御意見・御質問ございませんでしょうか。

大内委員：2ページの緩衝帯の設置ですが、水稻の被害削減のために何メートル幅で実際どのように試作したのかお聞きしたいです。それから女川京ヶ森線において、法面用平面型防鹿柵の試作の効果等を教えていただければ助かります。

事務局：2ページの(3)の(イ)の緩衝帯設置の推進と(ロ)の防鹿柵の件でよろしいでしょうか。関係課の者がおりますのでそちらから説明します。

事務局：緩衝帯の設置について目標として水稻ということですが、実際の被害報告が一番多いのが気仙沼地域になります。気仙沼地域は昨年度、国の補助事業を使いながら電気柵を設置する時に併せて電気柵の環境整備ということで、草の刈り払い等を行っています。その際、どうしても田んぼの畔の内外に張る形になりますので、その地域によって緩衝帯の幅が違っております。シカが開けた場所から飛び上がって電気柵に接触することを防ぐため、あまり大きくは刈り払っていませんが1メートルから2メートルの幅で刈り払っていると聞いており、実際に写真も見せていただいております。シカは開けているところは警戒する習性が若干あると聞いておりますので、それが実際に役に立っているのが緩衝帯なのか電気柵なのかということに関しましては、非常に評価は難しいところですが今のところ、気仙沼市の報告にありましたように緩衝帯も同時に効用があったものと考えております。

事務局：防鹿柵については県有林で設置しているものですが、柵の設置そのものについては確実に効果があるようですが、メンテナンスの関係が疎かになってしまうと入られてしまうので、今のところ保育作業をしていただいている方に状況報告や簡単な直しをしてもらって対処していますが、延長が長くなれば長くなるほど管理やメンテナンスコストがかかってきますので、その辺が課題になってくると思えます。

榎委員：女川京ヶ森線の平面型防鹿柵につきまして、若干補足させていただきます。林道の法面全面に防鹿柵を張ると、何回張っても踏み荒らされて被害に遭うということがあったので、試作的に縁に縁取りをしたような形で金網を貼り、内側を高くしてシカが入らないようにした試作でございます。下の方に木を並べて通行には支障の無いように視野を取り、その上に更に防鹿柵を張った形になりました。結果ですが、今をもって現在も非常に有効になっており、法面の食い荒らしや踏み荒らし等々みられておりません。なかなか有効な手段だったのかなと考えております。

部会長：ありがとうございます。時間がかかってしまいましたので、次にいきたいと思えますがよろしいでしょうか。一つだけ気を付けた方がよろしいかと思うのが、メッシュ状の地図は国際基準のメッシュでしょうか。環境省で今度、世界基準の地図でメッシュ貼りを作るはずで若干ずれているので、この

辺り自然保護課で作成する時には気を付けた方がよろしいかと思ます。それでは次にいきたいと思ます。(2)平成26年度ニホンジカ保護管理事業実施計画書について、事務局から説明願います。

事務局：(資料に従い説明)

部会長：ありがとうございます。それでは以上の説明について、御意見・御質問はありますでしょうか。

榎委員：先程、土屋先生から資料8ページにつきまして御質問がりましたが、資料3の3ページのライトセンサスカウント数で平成26年度もライトセンサスカウント法を実施するとあり、平成19年から県で実施していて、その数値は160頭、257頭、342頭、159頭、132頭、昨年度は97頭、今年は一体何頭になるのか楽しみです、少なからずともみられている数は減っているのかなというように考えるわけで、目標頭数として1,650頭は結構ですが、果たして本当に何頭生息しているか分からない状況で、おおざっぱな中でやっておられるのは分かりますが、そろそろ見直しをしていただければと思ます。もう一点は環境省の東北地方環境事務所が東北野生生物保護管理センターに牡鹿半島の生息調査を依頼したようで、私どもに捕獲の許可申請が上がってきております。そういう実績を例えば環境省と連携して実際に牡鹿半島でどのくらいの、そちらの持っているデータとこちらの持っているデータを共有して捕獲頭数を正確に把握してもらい、より良い保護管理計画を作っていただきたいと思ます。

部会長：ありがとうございます。数値目標1,650どうなのでしょう。牡鹿半島の女川町・石巻市が1,500、気仙沼市が340で足すと1,840ですが、数値の整合性はどうなのでしょう。少し疑問に思いました。

事務局：捕獲目標が1,650に対して26年度の目標が1,871ですが、これに関しましては先程25年度の実績で申し上げましたが、25年度は目標1,650に対して1,192頭しか結果として獲れなかったということで、その差を上積みしたと言うのが実態でございます。差が458頭ございます。そのうちの221頭につきまして、26年度の1,650頭にプラスしますと先程申しました26年度の目標であります1,871という数字になります。この計画は25年度から28年度までの4か年に渡って、それぞれ1,650頭でトータル6,600頭獲るという計画なものですから、25年度は少なかったのを、それを後年度の26、27、28年に上積みして計画目標の1,650に近づけるという趣旨で弾いた数字でございます。

部会長：ありがとうございます。よく分かりました。ライトセンサを続けて段々減ってきたということで正確な生息頭数があつた方が良いのではないかとありますが、なかなか難しいです。高槻先生がおられれば良いのですが、高槻先生は植物の評価で大体の生息頭数を割り出すことができるので、わざわざ一頭一頭数える必要はないという御意見で、全国的にもそのような形なので高槻先生が提言されているような評価法で生息頭数を割り出した方が良いのではなかつたと思ます。あと、もう一つ気がかりなのが残さ処理。県、あるいは各市町村として、どのようにお考えであるかお聞かせ願います。

事務局：シカの残さ処理につきましては、気仙沼市で実施しております県の個体数調整事業は、従来は気仙沼市に御依頼をして残さ処理・埋める場所確保の御協力をいただいていた状況でしたが、平成26年度につきましては気仙沼市より市での実施で容量がいっぱいなので県で独自に場所を確保していただきたいという御要望がございまして、県有林の使用許可を自然保護課で取り、県有林内の数か所に穴を掘ってそこで県の個体数調整事業で捕獲したニホンジカの残さ処理を行っております。

部会長：石巻地域、牡鹿半島地域はどうでしょうか。

事務局：牡鹿半島地域につきましては、石巻市等の御好意に甘えているという状況です。

部会長：それで大丈夫なのか心配ですが。

事務局：補足になりますが、捕獲頭数が多くなっていますが牡鹿半島も含めて埋める場所の確保が難しくなつております。まだ実現はしてませんが、農水省関係の補助メニューの中に100%の補助金ではありませんが、処理施設の設置などそういうものも付いているので今後は埋めるだけではなく焼却処分ができる施設等も将来的には必要なのかなと思っております。イノシシは県南でそのような動き

が出てきているので、シカについても獲っても処分する場所が無いということになりますと獲れなくなってしまいますので、今後農水サイドや市町村と相談しながら検討していかなければいけないと思っております。先程の放射性物質のお話ではないですが、獲っても食べられないと捨てるしかないとなりますから、場所の確保は課題と思っております。

部会長：個体数調整事業は県で有害は市町村ですよ。こういう棲み分けはしているのでしょうか。

事務局：残さ処理に関して埋める場合ということでしょうか。

部会長：はい。

事務局：棲み分けはしておりません。一緒です。

部会長：一般的な場所の提供はいかがでしょうか。

事務局：一般的には市町村にお願いしております。

部会長：それで確保はできるのでしょうか。

事務局：今現在、何とか確保はしていただいていると認識しておりますが、ただ場所が足りなくなってきたというお話は聞いており、それに関してまだ具体的に設定はしておりません。

部会長：かなり問題になってくるかと思われまますので、その辺りの対策を県で講じられると良ろしいかと思えます。

事務局：分かりました。ありがとうございます。

部会長：その他に御意見・御質問はありますでしょうか。

石田委員：先程の個体数捕獲ですが、26年度も半分過ぎてこれから狩猟期間に入り猟友会の方々に頑張ってもらえることになるかと思いますが、先程部会長が言われたようにもし箱わな等をもっと増やせるなら、それで少しでもカバーする等して、地理的にどうかと思いますが北海道等では使っていない牧場に追い込んだりして、一網打尽に結構な頭数を捕獲している例もありますので、お金も人手もかかるとは思いますが、26年度の計画でできたらと思うところです。

部会長：ありがとうございます。何か事務局からございますか。

事務局：この後説明させていただく鳥獣保護法の改正の件で、来年度環境省から国の補助金が付く予定でございます。もしかしたら、結構な金額が県に割り当てられる可能性があるかと思っております。環境省の事業を使うためには、ある程度の生息頭数を把握した上で何頭獲りますというような事業スキームになっているということなので、環境省の補助事業を活用し牡鹿半島の生息数を把握した上で更に国のお金をかけて27年度の捕獲を進めていこうと思っております。

部会長：ありがとうございます。それでは平成26年度の事業実施計画書について、ここで質疑等を打ち切ってよろしいでしょうか。なければ、その他の項目で事務局より先程の続きをお願いします。

事務局：(資料に従い説明)

部会長：ありがとうございます。ここで最後の夜間銃猟に関して説明は無いのですか。

事務局：(資料に従い説明)

部会長：せっかく環境省に行って聞いてきたものですから、こういうのを活用されるのも一つの手かなと感じております。ヨーロッパはサイレンサーを使っているので昼間でも捕獲効率が非常に良いのですが、日本では銃刀法の関係でなかなかサイレンサーは使えないのだと思います。その中で夜間銃猟が活用されるというのは一つの手かなと考えております。その他で全般を通じて何か御意見等はありませんでしょうか。

榎委員：最後に御説明いただきました鳥獣保護法改正の件ですが、この後に厚労省からジビエ料理のガイドラインが出たと思えますが、各県でこの指針に基づいた地元で則したガイドラインを策定してジビエの促進をしていただければ先程の残さ処理も上手くいくのではないかと思いますので、どうかよろしく御検討をお願いしたいと思います。

部会長：岩手県でも色々しましたが、シカ肉には寄生虫が多く異物混入ということで出荷停止になった経緯があります。金華山のシカはかなり汚染されています。ジビエを起こすというのも結構難しい事業と

私は考えております。それでは、進行を事務局にお返しします。

事務局：土屋部会長ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、御多忙のところお集まりいただきまして誠にありがとうございました。以上をもちまして、本日の宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンジカ部会の一切を終了いたします。どうもありがとうございました。